

インターハイに向けて

東北高校を終えて、大阪インターハイまで3週間となりました。声の欄には、低レベルな岩手の陸上に活を入れてくださる文章や、努力を称えてくださる文章を読ませていただきました。多くの方の期待にこたえるためにも、今まで以上に努力しなければならないと背筋が伸びる思いです。

翔南陸上部からは、5種目4名のインターハイ選手が誕生しました。日々インターハイを夢見て努力してきた部員を全員インターハイに連れて行くことはできませんでしたが、共に汗と涙を流した部員や家族の支えがなかったらつかむ事のできない夢でした。

部員達は、どの選手もインターハイを目標に毎日懸命に汗を流してきました。努力だけでは目標を達成することができない、勝負の厳しさを痛感しました。

インターハイを目指す陸上に取り組むのは実質2年3ヶ月です。その中で自分に負けず、競技力だけでなく人間力を向上させ陸上をやってよかったと一人でも多くの部員に感じてもらうのが私の目標の一つです。今回勝負には負けても、2年3ヶ月の中には様々なドラマがあり、良く頑張ってきたと思います。そして、応援して下さる多くの方々の期待にこたえられる様に、岩手の陸上競技のレベルを上げるためにも、今まで以上に日々、指導力を磨き努力して行きます。

そのインターハイに出場できる本校選手には、岩手のそして東北の代表として自分の最高の力を出して欲しいと思っています。

大阪インターハイで、全国の競技者と共に自分の最高に挑戦してきます。